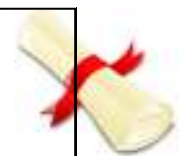


英単語



突然ですが、「人間の動物への姿勢」に関する次の英文を訳してみてください。

①Many Christians were beginning to have doubt about this attitude, but it was not until Darwin's theory of evolution began to have a major impact on human thought that man and animals came closer together again. ②The reacceptance of man's affinity with animals, which had been so natural to the early hunters, led to a second era of respect. ③As a result, our attitude towards deliberate cruelty to animals has been changing rapidly during the past hundred years; but despite increasingly powerful disapproval, the phenomenon is still very much with us. ④Public displays are rare, but private savageries persist. ※ affinity: 親近性 (鹿児島大学過去問より)

卒業生の「後輩へのアドバイス」を読むと、「英単語は大切」「速単の暗記が鍵」などといった英単語に関する記述が多いことに気が付きます。確かに入試では語彙力は必要条件です。そのために日頃から地道に繰り返し暗記をすることが求められます。

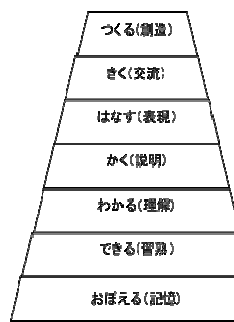
しかし暗記は語彙力獲得の十分条件ではありません。それは日本語の語彙力獲得の方法を考えればわかります。私たちは未知の言葉に遭遇した時、「辞書で調べる」、「一つ一つの漢字の意味から解釈する」、「文脈から判断する」といったことを試みて言葉の意味を理解しながら身に付けていきます。英語もそれと同じことが言えるのではないのでしょうか。

例えば、「辞書で調べる」。私は敢えて英英辞書をお勧めします。英単語は元来の意味から多くの意味が分岐しました。語彙力はそうした元の意味や幅を理解することだと思えます。そのために英英辞書は最適です。勿論すべてを英語で理解できることも利点です。

「一つ一つの漢字の意味から解釈する」。英単語は接頭語、語幹、接尾語など幾つかの要素から作られています。だから漢字と同じように、分解してある程度意味を理解することができますのです。例えば、assume と presume という単語は sume という部分で共通していますが、このように分解して意味を予測することができる単語はとても多いのです。

そして語彙力をつけるために不可欠なのが「文脈から判断する」です。書き手は時々言葉の反復を避けるために類義語を使用します。また抽象文を具体的に言い換える、比較して表現するということがあります。冒頭の文もその例です。文③が文④の具体文となっていることがわかりますか。ここから下線の単語も理解できないのでしょうか。接続詞や:(コロン)、;(セミコロン)の役割に注目することも大切です。多くの英文を読むことで、未知の単語の意味を想像する力を育ててください。(文責:今井雅)

『1年の窓』 『ブタがいた教室』という映画を知っていますか?小学校でブタを育てて最後には食べるという命の授業についての映画で、その授業を実践した先生ご本人とお話する機会がありました。京都教育大学教育学部、黒田恭史先生です。先生は様々な研究の結果、人間の理解の仕組みはピラミッド型だと考えるようになったそうです。そのピラミッドで、1年生のみなさんは「覚える」「できる」という土台をしっかりと固める時期にいます。まずは各教科で与えられた基礎・基本を頭にたたきこみましょう。英単語、古文の文法、数学の公式などを4月にまでにしっかりと頭の中に詰め込むことで2年生からの学習がスムーズに進むはずですよ。



3月に学習の土台を作る!
(文責 谷)

『2年の窓』 2年生の3月がやって来ます。「3月は魔の月」と私は思っています。というのも、2年生2月末と3年4月当初の学力を比べたとき、4月当初のほうが学力は低い(偏差値5~10ダウン)生徒が多いからです。そして、そのまま差がついたまま、多くの生徒が入試を迎えていくのです。アンケートを通して尋ねると、「3年生になってから受験勉強をはじめたが、もっと早く始めるべきだった。」「3月遊んでしまった。」など、3月の生活の仕方が上手くいかなかったと後悔していました。この3月という空白の期間は、学年末考査から始業式までの1か月と夏休みより長いのです。過ごし次第で夢に近づけるか、遠ざかるかが決まります。計画を立てて、3月を迎えましょう。また、2年学年団と進路はこの3月に向けて、①マイナビ進学フェスタ、②スタサポ(基礎力確認模試)、③希望者補習(3月20、23~27日)を実施します。みんなで、goodなスタートを切りましょう。(文責 竹腰)

『3年の窓』

明日はいよいよ卒業式。といっても進路が決定していない人も多いので、まだまだ受験勉強は続きますね。卒業式が終わっても3月31日までは多治見高生。最後の最後まで制服を着て学校に来よう。先生たちも、教科指導でも小論文でも面接でも最後までとことん一緒に付き合います!さて、4月からは230人それぞれが別の道に進んでいきます。小中高校時代と違い、それぞれが選んだ専門分野について深く学ぶこととなります。内田樹の『先生はえらい』という本の中にこんなことが書いてありました。(ここでいう先生とは「先生」という職業の人だけを指すのではない)

「生徒は自分が学ぶことのできることを、学びたく願っていることしか学ぶことができない」進学先での生活をどのようなものにするか。そこで何を学べるか、それはあなたたち次第です。例えば同じ先生の講義を受け、同じ人間と関わったにしてもそこから学ぶことは人それぞれ。あなたが学び、成長するためには、誰と関わるか誰の講義を受けるかということももちろん大切ですが、それよりも何よりも大事なことはあなたが何を学びたいと思っているか、どう生きていきたいかをしっかり持つことではないのでしょうか。自らの進学先に誇りを持ち、その場所で学べることを最大限に学んでくれることを期待しています。なんのために生まれて、なにをして生きるのか、こたえられないなんて、そんなのはいやですよ!あらゆる価値観、あらゆる学問を通してそれを探してみてください。(文責:渡部里)

○文系の窓○ 「サクラサク」

大学入試シーズンも私立大学入試は終盤に差し掛かり、結果が判明する時期です。国公立前期日程が昨日（一部は今日まで）終わり、今年の大学入試も残りわずかになってきました。

さて、入試業界では合格を「サクラサク」という言葉で例えます。この言葉、調べてみると、そもそもは合格電報によるもののようです。現代はインターネットで簡単に入試結果を見ることができですが、一昔前は、結果をいち早く知る手立てとして当たり前に利用されたのが合格電報です。東京大学の学生が、受験生に伝えるアルバイトとして始まったようです。少ない文字数で端的に、かつ確実に主旨を伝える言葉、それが電報では合格の「サクラサク」、残念な結果には「サクラチル」と表されたようです。趣ある表現が好評で定着した……というのが真相のようです。ちょっと他の大学のものも調べてみました。左側が合格、右側が残念賞です。カタカナなので読みにくいですが漢字に変換してみてください。

千葉大：ポウソウノ ウミハ ハルヲツゲ キミヲマツ / ナリタクウコウ キリフカシ

お茶の水女子大：オチャカオル / コノメドキ マテ 東京商船大（現海洋大）：トラトラトラ / チンボツ

金沢大：ケンロクエンサクラサク / フユノトノナミタカシ サイキキス

信州大：コマクサノハナヒラク / シナノジハユキフカシ

三重大：イセエビタイリョウ / イセワンニテザショウ

奈良教育大：ダイブツヨロコブ / ダイブツノメニナミダ 高知大：クジラガツレタ / リョウマノメニナミダ

鹿児島大：ホクシン カガヤク / サクラジマ フハツ

多治見高校にもたくさんの「サクラサク」が届くことを期待したいものです。「文系の窓」とは主旨が異なりますが、今年最後はこんな話題にしてみました。（文責 大島）

○理系の窓○

（文責 鈴木）

鳥取県といえば「スタバは無いけど砂場はある。」の名言が有名ですが（2014.9 にスタバが鳥取県にも出店したために、現在は砂場だけでなくスタバもあります。）鳥取環境大学も忘れてはなりません。こちらの小林 朋道 教授は、『先生、シマリスがヘビの頭をかじってます！』など動物の様々な生態を面白おかしくまとめた著書を数多く執筆しています。多治見高校の図書館にも何冊かあるので、興味があったら読んでみると良いでしょう。

「動物好きだから動物について学びたい」という人はどの学年にも何人かいますが、獣医や畜産というとなんか違う……という感覚を持つ人がほとんどです。こちらの大学では、動物行動学など、動物の生態や心理行動について学ぶことができます。

また、“環境大学”といいつつ経営学部があったり、環境情報学部内の建築・環境デザイン学科ではインテリアプランナーや2級建築士の受験資格が得られたり、名前に騙されそうですが、結構色々やっている大学であり、中学・高校の理科の教員免許が取得出来たり、気象予報士の資格取得を目指したり、本気で勉強する気があれば将来の選択肢は非常に多いと思います。

環境系を名乗る大学はいくつもありますがこの大学の最大の特徴は廃棄物系のプログラムです。ゴミ処理問題は大きな環境問題でありビジネスチャンスも大きいはずなのですが、それを系統立てて多面的に学べる大学は数少ない状況です。興味を持ったら調べてみよう。

☑総合学習の扉☑

最終回 総合学習の扉の中入ろう！

2月16日、23日とかけて文系、理系の学年発表会がありました。各ゼミの代表が1年間の集大成を緊張しながらも堂々と発表する姿は、見ている生徒にも良い刺激になったと思います。発表内容としては自作の歌を歌うゼミや学習したことを実践しながら発表するゼミなどもありました。また、自分がまとめたレジュメをわかりやすくパワーポイントにまとめて発表するゼミや実物を見せながら発表するゼミなど工夫を凝らした学年発表となりました。発表を通して、自分が興味・関心を持ち調べたこと、学んだこと、そして、より深く知っていきたいという思いが伝わってきました。また、他のゼミの学習したことを知ることで新たな発見や興味・関心が生まれるきっかけになったのではないかと思います。

このゼミ学習を通して、1番行ってほしかったことは何より最初に話しをした「進路検証」です。自分が進みたい路（みち）を検証することはできましたか？もし、検証ができて路が明確になったならば、後は実現するのみです。大学で自分の興味・関心を持った分野をより深く研究するためにも、3年生（受験生）として、日々学努力を重ね、自己実現していきましょう！

（文責 波勢）

○Book Review○

『地方消滅』（増田寛也、中公新書、2014）

「このままでは896の自治体が消滅しかねない」。元総務大臣の著者を始めとする日本創成会議が昨年五月に警鐘を鳴らし話題となったレポートをまとめた一冊。

人口急減や少子化と並行して東京への人口一極集中が進んでいるために、若い女性が激減して将来消滅する自治体が急増する。これを食い止めるには地方中核都市を活性化して東京への人口流出へのダム機能を持たせる必要がある。国立社会保障・人口問題研究所の推計を元にして、全国自治体のうち若年女性人口の減少率が五割を超える896の自治体を「消滅可能自治体」としており、この地域でも多治見市・瑞浪市・恵那市がその中に含まれています。

そもそも、東京への一極集中はいつ頃から始まったのでしょうか。歴史的な統計資料によると戦後になってからです。特に高度経済成長期に「金の卵」と呼ばれた若年労働者の大量就職がそれを加速させたのです。それ以来の流れを「選択と集中」の方法で国の政策によって変えていこうというのがこの本の趣旨のようです。しかし、団体自治と住民自治からなる「地方自治の本旨」がそこにどう関わるのかがよく見えません。住民の視点で一度話題の本を手にとってみてはどうでしょう。（文責：今井雅）

